

神戸市ソーシャルビジネス推進助成

令和元年度活動報告会

令和2年8月19日

神戸市企画調整局つなぐラボ

目次

【準備・創業期】

株式会社 With The World	1
株式会社 With The World	
078 アフター・スクール	3
一般社団法人 078 教育事業部	
人生 100 年・定年後の進路選択研修セミナー事業	4
ライフシフト 65	
法人による高齢者・障がい者・任意後見の付加価値を求める者を対象とした意思決定及び健康増進支援事業	5
一般社団法人ライフコンシェル・ミモザ	

【発展期】

日本語教室だんらん	8
特定非営利活動法人まなびと	
神戸市域における子ども・若者育成活動	9
一般財団法人野外活動協会（OAA）	
障害を価値としたユーザー評価・実証実験事業	10
特定非営利活動法人アイ・コラボレーション神戸	

【準備・創業期】

1. 団体名 株式会社 With The World
2. 事業名 株式会社 With The World
3. 実施期間 2019年4月1日（月）～ 2020年3月31日（火）
4. 活動のねらい

地域にある貧困による教育問題や伝統産業の衰退、ごみ問題等の環境問題についてあまり取り組む機会のない将来を担う高校生に対し、海外の同世代の高校と授業中に週に1度オンラインで繋げ、地域にある社会問題について議論し、地域産業とも連携しつつ、課題解決に対するアイデア出し、アイデアの実行を行うことを提供する。

5. 実施した内容

- 海外提携校の開拓（フィリピンエリアの開拓）
- オンライン授業の運営
- 旅行代理業取得、相互訪問・スタディツアーの実施＜出会う感動体験の創出＞
- メディア掲載
- ビジネスコンテスト出場
- 講演の実施
- カンボジア、ミャンマーの提携校開拓

6. 達成された成果・実績等

- 海外提携校の開拓（フィリピンエリアの開拓）
オンラインで繋ぐ学校の更なる開拓のため、フィリピンの NGOLOOB と協同し、フィリピン・イロイロ市の現地校である、アサンプション中学校を 2019 年 8 月に開拓。
- オンライン授業の運営
＜高校 3 年生対象＞実績：兵庫県内の高等学校 1 校
2019 年 4 月以降、インドネシアバリ島のハラパン高校と単位認定の選択授業（毎週水曜日）にて、両国の社会問題をテーマ（①環境問題②家族とのコミュニケーションレス③食品ロス④食と健康問題⑤貧困・教育問題⑥伝統産業と観光問題）にしたオンライン授業及びハラパン高校の生徒の受入れを行った。当授業については、2019 年で実施した授業の満足度が生徒から高い評価を得たことから、2020 年 4 月以降も継続して実施することとなった。
＜中学 1 年生対象＞東京都内の中学校 1 校
2019 年 8 月に開拓したアサンプション中学校と東京都内の中学校間でのオンライン授業を中学 1 年生対象に 2019 年 10 月から毎月 1 回、金曜日に英語の授業で開始。共通のテーマは SDGs とし、両国の文化紹介及び興味のある SDGs トピックの紹介、説明及び発表を行った。2020 年度は中学全学年で実施予定。
- 旅行代理業取得、相互訪問・スタディツアーの実施＜出会う感動体験の創出＞
実施した生徒・学校の要望に伴い、相互訪問の実施を検討し、2019 年 11 月に総合旅行業務取扱管理者の資格を取得。2020 年 1 月に旅行業務代理業〔親会社：(株)ビートルトラベル〕として兵庫県庁に登録申請を行った。
- メディア掲載

実績：6件（2019年度）

●ビジネスコンテスト出場

日本最大級ビジネスコンテストである、ICG サミット KYOT02019 スタートアップカタパルトのファイナリストに選ばれた。

●講演の実施：3校

●カンボジア、ミャンマーの提携校開拓

カンボジア、ミャンマーのNPO及び民間企業と協同し、2020年中のオンライン授業の実施を計画中。

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

●書籍を購入したことで、多角的な視点で学べる授業プランを作成することができた

助成金で各種書籍を購入したことにより、特定の分野だけでなく、SDGs、環境問題、家族とのコミュニケーションレス、食品ロス、食と健康問題、貧困・教育問題、伝統産業と観光問題等、多角的な視点で社会問題を学ぶことができる授業プランを作成することができた。また、2020年度以降の展開において、これまでの授業実施先である中学校や高等学校だけでなく、大学の授業にも対応できるよう、提供コンテンツの拡大に向けて、必要なプランを練ることができた。

●事業拡大の上で必要な基本契約書を作成することができた

助成金の採択特典である専門家派遣制度を活用し、弁護士からアドバイスをいただくことで、事業拡大の上で必要な基本契約書を作成することができた。本契約書を活用し、事業拡大を図るとともに、他社と提携する際、弊社のビジネススキームの権利保護を図っていきたい。

8. 今後の事業展開や展望等

●海外展開

現在、インドネシア・フィリピンの提携先を持っているが、2020年はミャンマー・カンボジア・タイ・インドを開拓予定。

●学校

中学校：東京都内の中学校1校（2020年度：中学全学年）

高等学校：兵庫県内の高等学校1校（2020年度：高校2学年、3学年）

大学：兵庫県内の大学1校（2020年度：大学全学年対象）

上記学校での授業を予定している。中学～大学の幅広い授業展開を2020年で実施できる事例を活かし、現在問い合わせのある学校への2021年度導入を見据えて営業を行う。

●オンライン授業の展開

日本と海外校の2拠点だけでなく、日本と海外校と海外校のような学校の教室でボーダレスに学習できる環境を2020年展開予定。

●チーム作り

現在日本のメンバーが私のみであるため、主力チームを雇用し、事業拡大を加速させる。

●システム開発

AIを使用した議論支援・評価システムを開発し、先生の過負荷を減少する。また、同時に学校オンラインマッチングプラットフォームを築くことによって営業なし事業展開していく仕組みを構築する。

【準備・創業期】

1. 団体名 一般社団法人 078 教育事業部
2. 事業名 078 アフター・スクール
3. 実施期間 2019年7月22日（月） ～ 2020年3月31日（火）
4. 活動のねらい

社会構造の変化に伴い、働く女性の増加や企業の人手不足が起こっているが、課題として子どもが「小学校に入学したら仕事をやめなければならない」という親の切実な問題があった。そこで、078アフター・スクール（民間学童保育）として、放課後の小学生に対して宿題の確認や、一緒に遊び、地域の児童の健全育成のお役に立ちたいと考えた。

5. 実施した内容

放課後から19時まで、主に小学校低学年の児童と一緒に宿題にとりくんだ。スクールの特長として、基礎学力向上と多様な学びにつながるようにお稽古プログラムを企画し導入した。児童が興味をもって参加できるように、お稽古の講師については日替わり体制とし、さまざまな分野で活躍の講師を招き、児童の健全育成につながったと確信している。

6. 達成された成果・実績等

- 夏休みや冬休みは預かり時間が長いので、お稽古プログラムを午前と午後の2回実施
- 夏期利用者は5名のみ→9月からは正規の入会を募集し、9月と10月で計入会5名
- 子どもの安心安全を確保するために、児童の送迎に力を注いだ
- 12月26日にアフター・スクール御影校クリスマス会開催(児童8名参加)
- 1月6日にアフター・スクール御影校お寿司づくり体験会開催(児童11名参加)

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

お稽古プログラムの講師を思いきって採用できたことが大きい。毎月6名から10名の講師先生に登録していただき、日替わりでアフター・スクールに来ていただいたことで、児童にとっては毎日が変化の連続で、学びに対する意欲が高まったと思われる。他にも、初期段階で児童が少ない状況が続いたが、一定の固定費はかかるため、助成金による確実な資金は、今後の運営計画をたてる際の安心感に繋がったと思われる。

8. 今後の事業展開や展望等

令和2年4月に通常の在籍児童が10名を超える予定である。現状は、運営スタッフと学童スペースには余裕がある。一方で、今後の児童増加に伴うスタッフの確保が課題となりそう。新型コロナウイルスの影響もあり、一時的に問い合わせが増えたが、今後は児童数が増加しても、保護者には安心して預けてもらえる施設をめざしたいのがミッションであると考えている。

【準備・創業期】

1. 団体名 ライフシフト 65
2. 事業名 人生 100 年・定年後の進路選択研修セミナー事業
3. 実施期間 2019 年 7 月 1 日（月）～ 2020 年 3 月 31 日（火）
4. 活動のねらい

超高齢化社会の進展、人生 100 年時代、定年後のシニアのいくところ無し、やること無し、ひきこもり、独居、孤独死問題の深刻化、地域社会の疲弊。これを防ぐために、定年後のシニアの進路選択にあたり、良きセカンドライフに向け自分の価値観を見直し、転換し新たな社会参加を促す。

5. 実施した内容

主たる活動（セミナーの実施）

- 2019. 11. 28 健康経営 シニアの活用セミナーの開催 参加 32 社
- 2020. 1. 29 定年後の進路選択研修セミナー開催（参加 17 社）
※3つの開発プログラムを紹介
- 2020. 1. 17 定年後の進路選択 シニアしごと開拓ミニセミナー
- 2020. 2. 21 同 シニアしごと開拓ミニセミナー
- 2020. 3. 18 定年後の進路選択 シニアしごと開拓フォーラム（コロナウィルスにより延期）

6. 達成された成果・実績等

- 本研修セミナーの受注
企業 2 社と 2019. 10 テスト実施した。さらに、2 社と 2020. 7 および 2020. 9 に実施契約内定。

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

研修セミナー商品の開発、事業化には、時間と費用がかかる。専門家の招へい費用、テスト企画実施費用（集客チラシ、HP、FB、セミナールーム賃借料）の一部助成を受けたことで、1 年以内に商品の完成および企業 2 社に対してテスト実施することが出来て、事業化に向け大きく前進することができた。

また、神戸市ソーシャルビジネス助成採択事業ということでライフシフト 65 の信用力も上がった。

8. 今後の事業展開や展望等

- 神戸大学、CS 神戸との連携をさらに深め、研修セミナーを充実させ、良きシニアライフの気づき、踏み出す場をつくりだす。ならびに定年退職後の進路の一つとして、地域再生の担い手づくりを支援していきたい。
- 大人塾カフェ（居場所）の講座メニューを充実させ、常設とし、地域共生の拠点としたい。
- 定年後の進路選択研修セミナーおよびシニアしごと開拓事業を軌道にのせ、法人化を目指す。

【準備・創業期】

1. 団体名 一般社団法人ライフコンシェル・ミモザ
2. 事業名 法人による高齢者・障がい者・任意後見の付加価値を求める者を対象とした意思決定及び健康増進支援事業
3. 実施期間 2019年4月26日（金）～ 2020年3月31日（火）
4. 活動のねらい

- (1) 多職種で構成された法人での包括的アセスメントとワンストップ生活支援等によって、高齢者等の価値観を重視した意思決定支援を円滑に行う。
- (2) 高齢者等の法的問題や一般的な身上監護だけでなく、自己健康管理や認知症予防、生き甲斐づくりへのサポート等の細かなニーズに対応した後見等業務を行う。

5. 実施した内容

- (1) ケースマネージメント
- (2) 研修・セミナー
- (3) 広報活動

6. 達成された成果・実績等

- (1) ケースマネージメント
裁判所に保佐人として2件の選任を受けることができた。
①のケース
本法人による広報活動を通じて、あんしんすこやかセンターの職員の方より相談を受けた男性について、神戸家庭裁判所より保佐人に選任された。選任後直ちに支援会議を開き、ケースの包括的なアセスメントと支援方法の計画立案（役割分担含む）を行った。
また、定期的な家庭訪問を通して、本人の財産状況に関する情報収集・調査を行っており、日常的な財産管理だけでなく、放置すれば本人にとって不利益となる債務整理などの法的手続きも行う予定である（この部分は法人ではできないため、法人の構成員が弁護士として行う）。その他、金融機関の口座を整理し、年金の手続等を行い、既に裁判所への初回報告を終えた。
さらに高齢・認知機能低下や運動機能低下を予防し、住み慣れた在宅（マンション）での暮らしを維持する支援が必要である。家庭訪問時には、法人保健師が、担当ケアマネージャーから、通所施設（デイケア）の利用状況やかかりつけ医での受診状況等の情報を把握しながら、適切な社会資源の利用について計画・修正の実施や、自宅のできる簡便な体操などを指導し、本人のフレイル（加齢により心身の活力が衰えた状態）予防の支援を継続中である。
本ケースへのタイムリーな支援を行うために、家庭訪問後には必ずケース会議を開き、被保佐人についての新たな解決すべき問題点の洗い出しと役割分担を決め、後日それぞれ対応を行っている。

②のケース

本法人による広報活動を通じて、あんしんすこやかセンターの職員の方より相談・選任を受け、直ちに支援会議を開き、ケースの包括的なアセスメントと支援方法の計画立案（役割分担含む）を行った。

日常的な財産管理だけでなく、金融機関の口座を整理し、現在保険調査を行い、間もなく裁判所への初回報告を行う予定である。

(2) 研修・セミナー

本法人の活動に興味を寄せていただいた神戸市内の病院（精神科、認知症）へ事業内容等の説明に出向いた。本病院からは、来年度の病院職員等を対象としたスタッフ研修（人権擁護等のテーマでの）依頼を受けた。さらに今後は、定例の事例検討会にもアドバイザーとして出席することとなった。

同病院は、傘下にクリニックや訪問看護ステーションを擁し、近隣の訪問看護ステーション等との密接な交流があるため、今後、同病院でのセミナーや事例検討会を通じて、同病院だけでなく、多くの訪問看護ステーションや介護事業所に対し当法人の広報を行っていく予定である。また、同病院では、精神障がい者や認知症の高齢者の家族会も定期的に開催されており、その家族会へのアドバイザーとしての参加やセミナー開催も見込んでいる。

(3) 広報活動

神戸市兵庫区の地域包括ネットワークの会合、ケアマネージャー・福祉職（訪問看護ステーション・地域包括支援センターの職員、病院のMSW）の勉強会に参加し、兵庫区の地域包括支援センター、新生病院の看護部にパンフレット配布と業務内容についての説明を行い、神戸市垂水区、兵庫区の訪問看護ステーション、介護事業所、病院にパンフレットを配布した。

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

- 法人のロゴ、ロゴを載せた封筒、業務内容を記載したパンフレットを作成することができ、法人自体及び業務内容の広報活動を広く円滑に行うことができた。その広報活動を通じて、地域包括支援センター、病院、訪問看護ステーション、介護事業所等の関係機関とのつながりが蓄積され、ケースマネジメントの実践を通じて、多職種による法人後見等の具体的知識・経験が蓄積され、関係機関・職種とのつながりが深まった。
- 円滑なケースマネジメント遂行や、研修・セミナーの内容をブラッシュアップするため、法人事業の遂行に必要な資機材を揃えることができた。イニシャルコスト削減により運営基盤を安定させることができたので、提供サービスの充実に資源を割くことができた。
- 専門家派遣制度により、法人の一般的な税務だけでなく、当法人のそれぞれの業務と税申告の必要性についての知識を得ることができた。

8. 今後の事業展開や展望等

- (1) 既に選任された後見等のケースマネジメントを適切に継続する。
- (2) 来年度決まっている病院でのケース会議、研修・セミナー等を通じて、病院だけでなく、訪問看護ステーション、介護事業所とのつながりを作る。これにより、後見等のケースを増や

してかかる事業での知識経験を蓄積する。

(3) 上記(1)(2)を踏まえたセミナー・勉強会の開催による地域社会へのフィードバックだけでなく、実習生受け入れ・市民後見人のサポート等の人材育成にもつなげていきたい。

【発展期】

1. 団体名 特定非営利活動法人まなびと
2. 事業名 日本語教室だんらん
3. 実施期間 2019年7月1日(土)～2020年3月31日(火)

4. 活動のねらい

日本に来た外国人が、ハードル低く、より手軽に地域の中に入っていける仕組みづくりを目指す。地域にある日本語学校と自団体の日本語教室との連携、そして日本語教室に来てから地域活動に参加するまでの個々人のフォローを徹底することで、外国人の方がより短期間に地域で活躍できる仕組みを作る。

5. 実施した内容

- 月～木までの定期の日本語教室活動を実施。
- 地域の日本語学校コミュニカ学院との交流クラスを6回実施。
- ボランティア研修を6回実施。
- 自団体の照会冊子を作成。

6. 達成された成果・実績等

- 教室を172回開催、延べ795人の外国人に授業を届けた。
- 日本語学校コミュニカ学院との交流クラスを6回実施。実数で20の方がその後法人の日本語教室に参加。
- ボランティア研修を6回実施。受講生の一人はその後日本語教師になった。

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

自団体のことを発信するための団体紹介冊子を新しく作ることができた。これにより、日本語教室だんらんの目指す、外国人の方が地域の多様性の中の一つとなり、その人ならではの形で、地域で活躍するためサポートをしたいということが、冊子一つで伝えやすくなった。

8. 今後の事業展開や展望等

今後はさらに多くの日本語学校と連携をしていきたい。
また、日本語教室に来てくださった外国人と一緒に、もっとたくさんの活動を生み出して、一人ひとりが輝く地域を目指していきたい。

【発展期】

1. **団体名** 一般財団法人野外活動協会（OAA）
2. **事業名** 神戸市域における子ども・若者育成活動
3. **実施期間** 2019年4月1日（月）～ 2020年3月31日（火）
4. **活動のねらい**

明日の神戸を担う職域・地域における健全な青少年を育成することを目的として、自然体験活動・野外活動を行う。社会人青年男女を対象とした活動（日帰りハイキング・シティウォーク、デイキャンプ等）および、子どもやその家族を対象とした活動（ハイキング、デイキャンプ、宿泊を伴うキャンプ等）を実施する。

5. 実施した内容

- 社会人青年を対象に、野外活動・自然体験活動を通じた仲間づくりとリーダーシップ養成、ふるさと意識の醸成などを目的とした、日帰りハイキング・シティウォーク、デイキャンプなど12回企画、11回実施（1回中止）。のべ487名参加。
- 子どもとその家族を対象とした、仲間づくり、家族の絆の強化、ふるさと意識の醸成などを目的とした、日帰りハイキング、デイキャンプを6回企画。のべ83名参加。
- 大学生および青年リーダーを対象とした、野外活動・自然体験活動に必要な知識スキルに関する研修会の実施。日帰り5回、宿泊1回を実施。のべ86名参加。

6. 達成された成果・実績等

- 活動あたりの参加者平均は昨年度37名に対して今年度が44名と増加している。
- 個人会員数も全体で前年度に比べ30名ほど増えている。
- 子どもと家族対象のプログラム（新規事業）も参加者からは来年の継続実施の希望を聞いている。
- 広報活動を実施したことにより、ボランティアリーダーの登録も当初の12名から15名に増加した。引き続き広報活動を継続するため、今後も登録者数の増加が見込まれる。

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

- リーダーの増員（育成）と広報活動の拡充（パンフレット増刷など）を行うことができた。
- 新規事業を展開することで例年より多くの活動を実施することができた。
- 様々な取り組みの結果として、参加者の増加、さらにOAAの会員数も増加していることから、以前より多くの方々に野外活動やグループ活動の機会を提供することができた。

8. 今後の事業展開や展望等

- 増加した活動を減らさずに持続させ、リーダーのさらなる増加とともに活動数を増やす方向で進めていきたい。また、成果を数値的に拾うことが難しい分野だが、認知度や必要性を高めるためにも、評価の手法を模索していきたいと考える。
社会的にレジャーとしての印象が強い活動であるが、豊かな生活につながる教育的な側面を強調しながら、より良い社会づくりに引き続き貢献できる活動を展開していきたい。

【発展期】

1. **団体名** 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション神戸
2. **事業名** 障害を価値としたユーザー評価・実証実験事業
3. **実施期間** 2019年4月1日（月）～ 2020年3月31日（火）
4. **活動のねらい**

弊所は雇用型の障害者就労支援施設である。障害を価値として企業・自治体のウェブサイトのユーザー評価を実施している。これまでに全国の障害者 70 名以上が対価を得ており、支払総額は約 300 万円以上である。

2018年8月、障害者・技術者・企業が製品開発を行う「わたし達の未来をつくる『アイデアソン・ハッカソン』～世の中を変える商品開発～」を主催し、メディアに取り上げられた。以降、ウェブのみではなく、メーカーの試作品の評価や実証実験のご依頼もいただくようになった。この一年「わたし達の未来をつくる『アイデアソン・ハッカソン』～世の中を変える商品開発～」を神戸と東京で開催し、事業拡大を目指した。

5. 実施した内容

- 2019年5月16日（木） 「アクセシビリティの祭典」開催
- 2019年6月7日（金） わたしたちの未来をつくる「アイデアソン・ハッカソン」開催
[他、2019年8月17日（土）、8月25日（日）、2019年10月19日（土）、10月27日（日）
2019年12月6日（金）、2020年1月31日（金）に開催]

6. 達成された成果・実績等

- 2019年5月16日（木） 来場者 319人
- 2019年6月7日（金） 参加者（チーム代表者）約10名 新聞掲載2件、テレビ放送1件
- 2019年8月17日（土）、8月25日（日） 参加者31名 新聞掲載1件
- 2019年10月19日（土）、10月27日（日） 参加者32名 最終報告会ではメディアが取材予定。
- 2019年12月6日（金） 参加者（チーム代表者）約10名 新聞掲載1件、テレビ放送1件
- 2020年1月31日（金） 参加者（チーム代表者）約10名、見学企業3社、自治体1団体

7. 助成金を受けたことにより達成できたこと

- 事業説明の際、本助成に採択されたことを併せて紹介することで、対外的な信頼度が増した。
- 本助成を会場費に活用できたことで資金面での不安・負担が減り、弊所事業を広く発信する機会を設けることができた。

上記により弊所の取り組みを軌道に乗せることに成功し、新聞取材やテレビ放送等、多くの取材実績ができた。これにより受注件数を増やし、事業化をさらに進めていきたい。

8. 今後の事業展開や展望等

弊所のこれまでの活動や、本事業内での活動で培ったノウハウを神戸市から日本中に広め、障害を価値として重度な障害のある方々のニーズを事業化し、より多くの障害のある方々の収入アップを目指していきたい。